科目名	38. 「動く」「眠る」「環境」を支える援助				
履修年次	1年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	対象の生活行動を支えるために必要な知識と技術を習得することができる				
到達目標	１）姿勢の基礎知識、様々な体位とその目的、ボディメカニクスの原理を踏まえ、「動く」を支える基本技術を習得することができる ２）さまざまな人の日常生活に関心を向け、休息・睡眠の意義と、活動と休息のバランスが生活に及ぼす影響を踏まえた睡眠障害のアセスメントをもとに、睡眠・休息を促す援助を表現することができる ３）さまざまな人の日常生活に関心を向け、生活環境を整える意義を踏まえ、生活しやすく快適な場を整えるための基本技術を習得することができる ４）安全・安楽で自立を踏まえた技術を習得するために自己課題に計画的に取り組もうとしている				
評価方法	筆記試験（60点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（20点）、実技試験（20点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③　医学書院 看護形態機能学　生活行動からみるからだ　日本看護協会出版会				
参考文献					
教育方法と学生への期待 （求めること）	自分の生活、他者の生活に関心を持ち、グループワークを通して「動くとは」「環境とは」「眠るとは」について考えを深め、日常の生活行動（「動く」「環境」「眠る」）の意義を理解し、看護技術の根拠を考えながら、対象を尊重し、対象の生活を整えるための基本的な知識と技術を習得してほしい。 講義・演習では事前学習が必要であり、それをもとにグループで検討することを重視します。また、演習では学生間で患者役・看護師役を交代しながら学習し、「あとは自己学習（練習）すれば技術習得できる」ことを目指し、自己学習（練習）のポイントをつかみましょう。授業（講義・演習）を受けるだけでは習得することはできません。自分のスケジュールを調整して予習・復習および技術の自己練習を行い、自己の技術の完成度（正確さ）を高めるよう取り組んでください。まずは空床ベッドのリネン交換を実施します。次に臥床患者のリネン交換が、根拠をもって考えられるように取り組んでください。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	環境①	療養生活の環境 自分にとって快適な環境とは 自分・他者の生活環境を知る	講義 演習
2	環境②	病室の環境	講義 演習

3	環境③	ベッドメーキング（異学年交流）	演習 (実習室)
4	環境④	ベッドメーキングの方法 リネン交換の援助方法	演習 (実習室)
5	動く①	人にとって動くとは 動かない（動けない）ことによる影響 よい姿勢	講義 演習
6	動く②	ボディメカニクス 体位変換の援助 移乗の援助	講義 演習
7	動く③	体位変換の援助 車椅子移乗の援助	演習 (実習室)
8	動く④	ボディメカニクス 体位変換の援助 移乗の援助	講義 演習
9	動く⑤	体位変換の援助 ストレッチャー移乗の援助	演習 (実習室)
10	動く⑥	患者の活動のアセスメントと動くを支える援助	演習
11	環境⑤	ベッド周囲の環境整備 ベッドの周囲の安全な環境を考える	講義 演習
12	環境⑥	患者の療養環境のアセスメントと環境整備	演習 (実習室)
13	環境⑦	臥床患者のリネン交換の援助	演習 (実習室)
14	眠る①	睡眠・休息の意義 睡眠の種類と睡眠制御のメカニズム 睡眠障害とその要因	講義 演習
15	眠る②	睡眠・休息の援助	講義 演習